

平成29年度 専門委員会活動報告

(1) 第1部会「新荷役機械システム調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナヤード内の効率性向上に関する調査研究（継続）

②調査研究活動報告

コンテナヤード内の効率性向上を検討する際の前提となる、効率化・自動化等の現状について、委員各社がこれまで取り組んできた事例について整理・とりまとめを行った。

その後、効率性向上の一方策として、外来シャシーをヤード内に入れずにコンテナ受渡を行う方法について検討を行った。

一方で、輸出入コンテナのヤード内での置き場所の決定手法等について、海外及び国内の事例調査をヒアリングにて実施した。

さらに、新規ヤード整備を前提に、外来シャシーとの効率的なコンテナ受渡方策について検討を行い、報告書としてとりまとめた。

(2) 第3部会「付帯施設標準化調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナクレーン検査点検表の見直し（継続）

②調査研究活動報告

平成8年10月に改訂したコンテナクレーン検査点検表をベースに現状のクレーン仕様に合致した内容とすべく、記述内容の見直しを行った。

現状、機械関係の見直しが完了しており、一部電気関係との摺り合わせが必要な項目が残っている。

(3) 第4部会「荷役機械用電機設備調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナクレーン検査点検表（電気関係）の見直し（新規）

②調査研究活動報告

平成8年10月作成のコンテナクレーン検査点検表 II 電気関係についての見直しを開始したが、現状のものは、サイリスタレオナード制御、直流モータで構成されていたため、大幅な見直しが必要であることがわかった。しかし、日本国内では、未だ、サイリスタ制御と直流モータも使用されているため、現状の部分を残し、かつ最新のインバータ制御について追記することで、まとめることとした。そこで、各クレーンメーカーで使用している点検表を提出してもらい、その内容の検討を開始した。

本年度前半は、前回の標準仕様書の修正等の検討があり、本検討を開始したのは後半からであり、また、見直し部分が多岐にわたるため、今年度では完了できず、次年度も継続して検討を行う。